

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚プロジェクト新築工事(立体駐車場棟)	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市大神宇一之環605の一部他642筆	構造	S造
用途地域	近商・二種住、準防火地域	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2023年2月14日
敷地面積	4,244 m ²	作成者	株式会社大本組東京本社一級建築士事務所
建築面積	3,573 m ²	確認日	2023年2月14日
延床面積	17,678 m ²	確認者	株式会社大本組東京本社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	N.A.
耐用性	2.5
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.4
汚染物質	4.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.7
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
国道129号線沿いに大規模な店舗(物販・飲食・診療所)の駐車場棟を計画した。	特になし。
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 特になし。
Q3 室外環境(敷地内) 特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材を使用していないためレベル5
	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していない

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される